

震災支援 2015 年度収支報告

震災支援に関する収支について、以下の通り報告いたします。

◎2015 年度 収入・支出ともになし
・「震災演劇連絡センター基金」残高 ￥1,677,561

東北的活用

くらもちひろゆき(劇作家協会東北支部長)

昨年、と書き始めようとして「ああそれはすでに一昨年だった」と気づく。まことに時のたつのが早い。一昨年、年の瀬に東北支部総会をして「震災演劇連絡センター」を設立し、震災と演劇関連の情報を収集すると同時に、震災戯曲の収集、公開をしていこう、となってから早一年。この連絡センターの東北的活用方法を考えねばならない。

とはいえ何もしていなかったわけではなく、いくつかの検討をしながら時間が過ぎていた。まずはホームページを立ち上げるところから始まるわけだが、そのスタイルをどうすべきか？ 戯曲を公開する場合、有料なのか無料なのか？ 電子書籍がいいのか、PDF がいいのか？ そもそも「震災演劇連絡センター」は設立準備しかしていないからちゃんとしなさいといけないな、とかやっているうちに現在となっている。

ふと気づくと、震災以降毎年1回は開いていた東北支部総会ができなかった。そうこうしているうちに震災後5年である。いろいろなことが「無かった」ことにされそうなこの頃のご時世である。なんとしても「無かったこと」にはさせないためにも、うめき声でも上げ続けなければならないだろう。

そのためにも、やはり集まる必要がある。東海支部が発明した「劇王」は、そんな意味でもなんという素晴らしい発明だったろうか。そして発明品じゃ活用し、改良していくのが人間の営みだろう。今年は何んとしても東北的活用を目指し、改良してうめき声を上げたいと思う。

2016 年 3 月 31 日発行 会報「ト書き」56 号より